

# 2015年11月期 決算説明会資料

---

2016年1月14日

Can★Do

(証券コード:2698)

<http://www.cando-web.co.jp>

## 100円ショップ業界

- 個人消費は4月以降から底堅い動き
  - ⇒ 既存店を軸に前年比増収基調維持
  - ⇒ インバウンド需要の「特需」は限定的
- 各社とも積極的な出店が続いた
  - ⇒ 大型商業施設等での出店競争は激化
- 粗利益コントロール、業務効率化が課題

## 2. 業績のハイライト(年度推移)



### 連結損益計算書(累計値)

(単位:百万円、%)

	2013年11月期		2014年11月期		2015年11月期		前年同期比	業績予想対比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	62,737	100.0	63,484	100.0	65,241	100.0	102.8	100.6
売上総利益	22,896	36.5	23,304	36.7	24,091	36.9	103.4	—
営業利益	1,484	2.4	1,700	2.7	1,318	2.0	77.6	75.7
経常利益	1,699	2.7	1,899	3.0	1,478	2.3	77.8	77.8
当期純利益	612	1.0	723	1.1	560	0.9	77.5	73.8
店舗数	854店舗		888店舗		927店舗		+39店舗	—

# 3. 業績のハイライト(四半期推移)



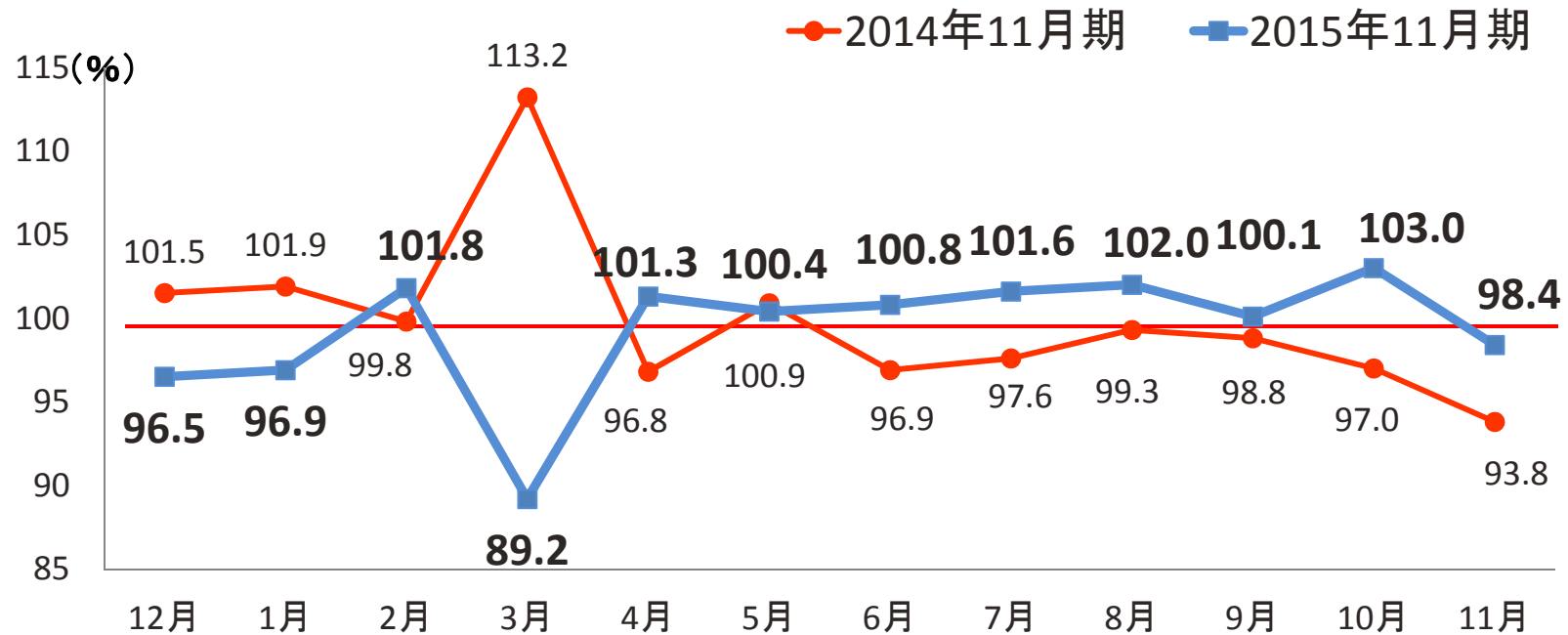
## 連結損益計算書(会計期間数値)

(単位:百万円、%)

	第1 四半期 (12-2月)		第2 四半期 (3-5月)		第3 四半期 (6-8月)		第4 四半期 (9-11月)		通期	
	金額	前年同期 比率	金額	前年同期 比率	金額	前年同期 比率	金額	前年同期 比率	金額	前年同期 比率
売上高	15,989	100.6	16,554	99.8	16,165	105.9	16,531	105.1	65,241	102.8
売上総利益	5,872	100.5	6,147	101.4	5,977	105.9	6,095	105.9	24,091	103.4
営業利益	461	75.8	329	65.5	273	88.2	254	91.4	1,318	77.6
経常利益	499	76.2	375	70.3	307	86.0	296	83.8	1,478	77.8
四半期純利益	227	72.8	126	81.1	97	71.7	108	92.3	560	77.5
店舗数	893店舗		905店舗		912店舗		927店舗		927店舗 (+39店舗)	

# 4. 売上の状況

## 既存直営店売上高 前年比の推移



### 2014年11月期

- 3月は消費税増税前の特需発生
- 下期は全般的に消費停滞感
- 既存直営店前年比は通期で99.7%

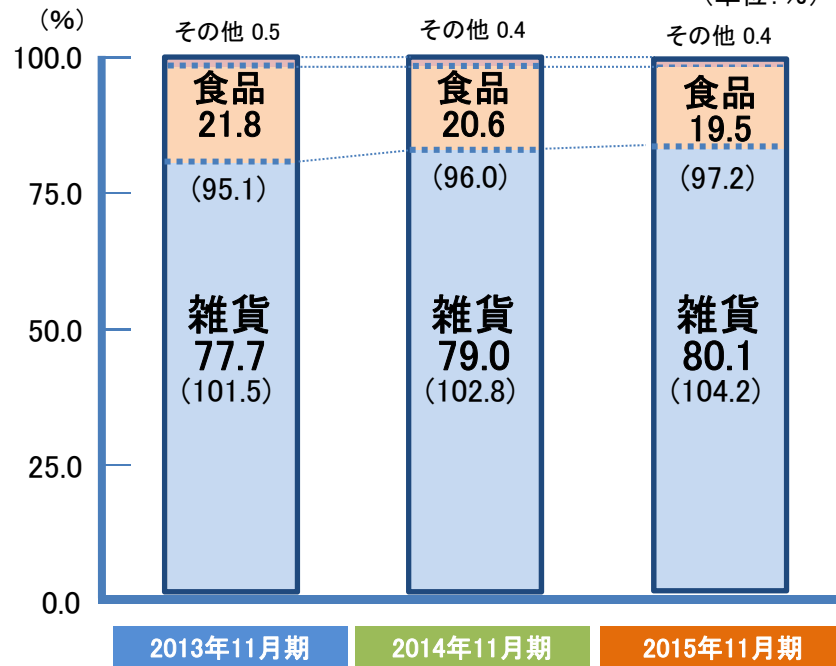
### 2015年11月期

- 上期は前年の反動減で停滞感
- 下期は11月以外は前年を上回る
- 既存直営店前年比は通期で99.2%

# 5. 売上の内訳

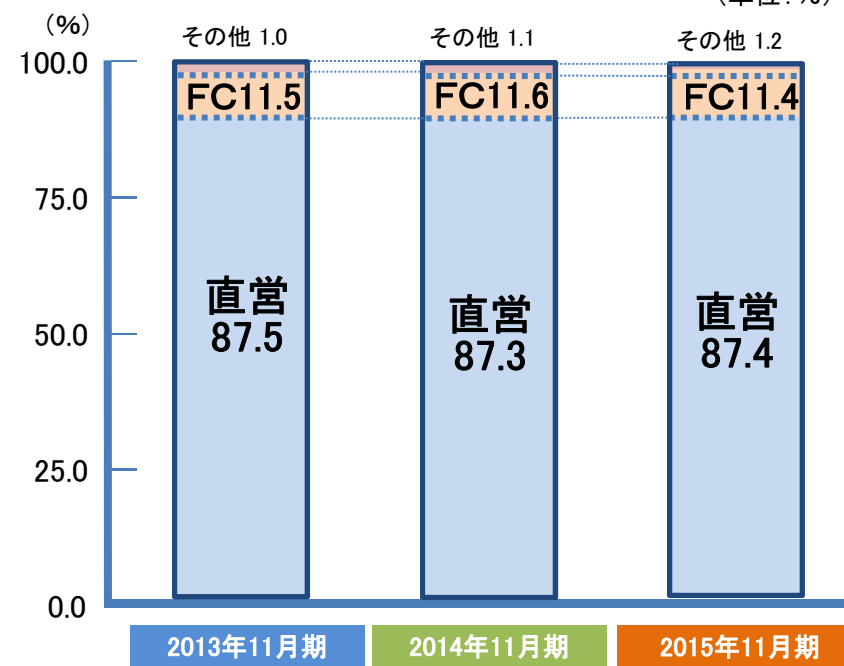
雑貨・食品 売上構成比

( )内は前年比  
(単位:%)



直営・FC 売上構成比

(単位:%)

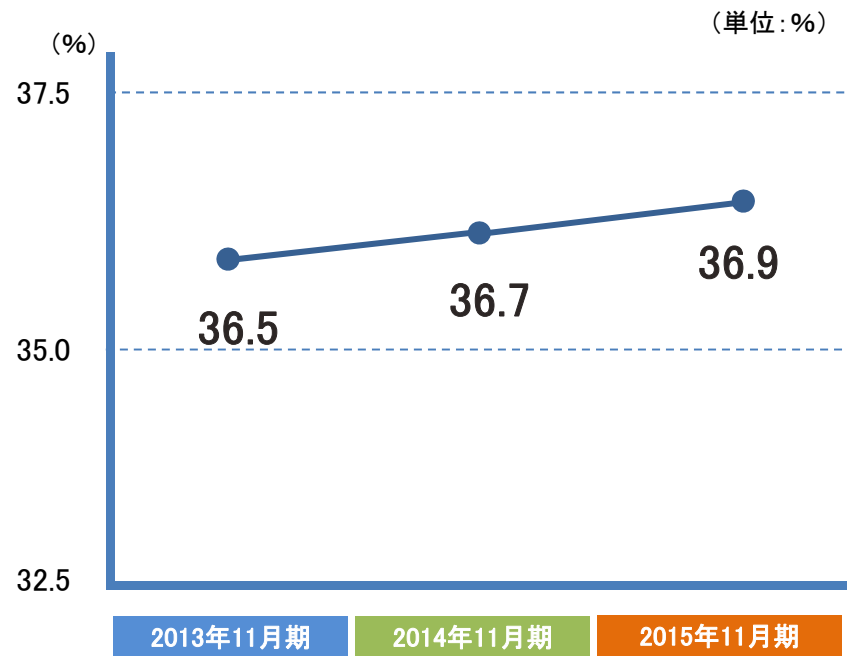


- 雑貨売上高比率が1.1ポイント増加
  - ・ 食品の絞り込み
  - ・ 雑貨新商品(含む仕様変更)を高水準で供給

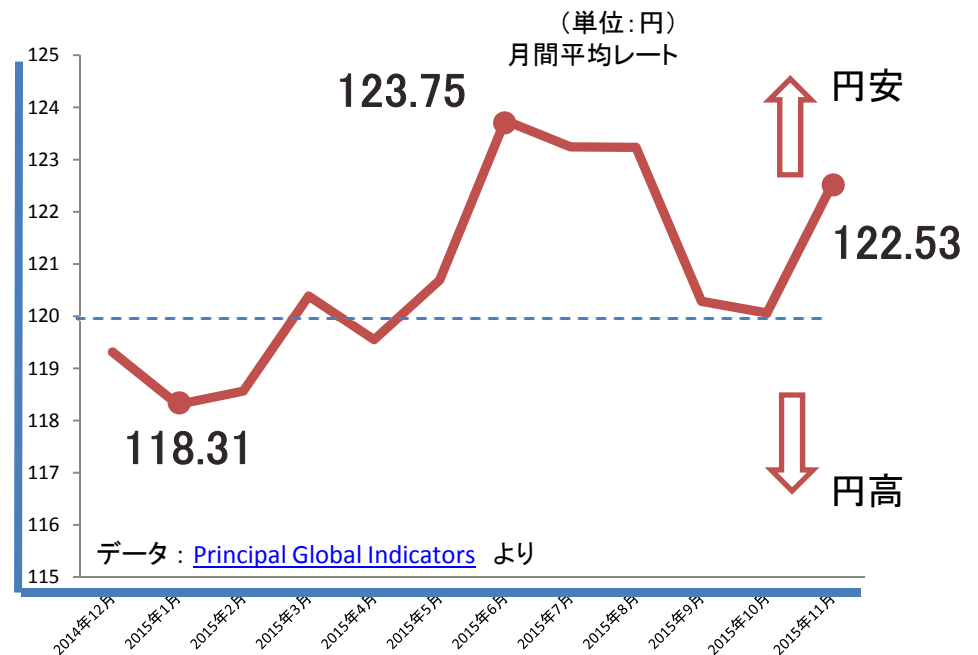
- 事業別構成比はほぼ現状維持
  - ・ 直営とFCの両輪で店舗網拡大
  - ・ FCは新店大型化、既存店増床に注力

# 6. 粗利のコントロール

### 粗利益率 推移



### 為替(USD)の推移

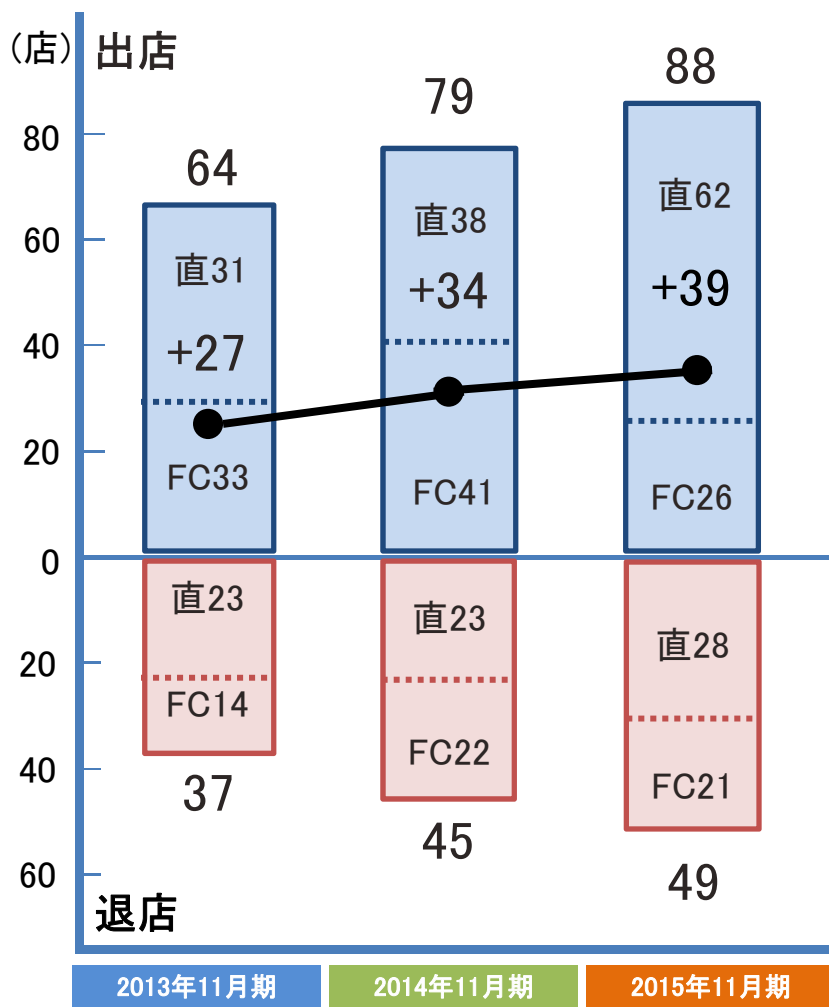


## ○ 原価上昇へ対応

- ・ 品質を強化しつつ商品の洗い替え
- ・ 量→質への転換
- ・ 脱特価商材、食品選別
- ・ 雑貨比率の引上げ

# 7. 出退店の状況

## 出退店 店舗数



## 出店・リニューアル

- 新規出店  
直営62店舗、FC26店舗の計88店舗
- リニューアル 30店

## 退店

- 直営28店舗、FC21店舗の計49店舗

39店舗の純増 927店舗

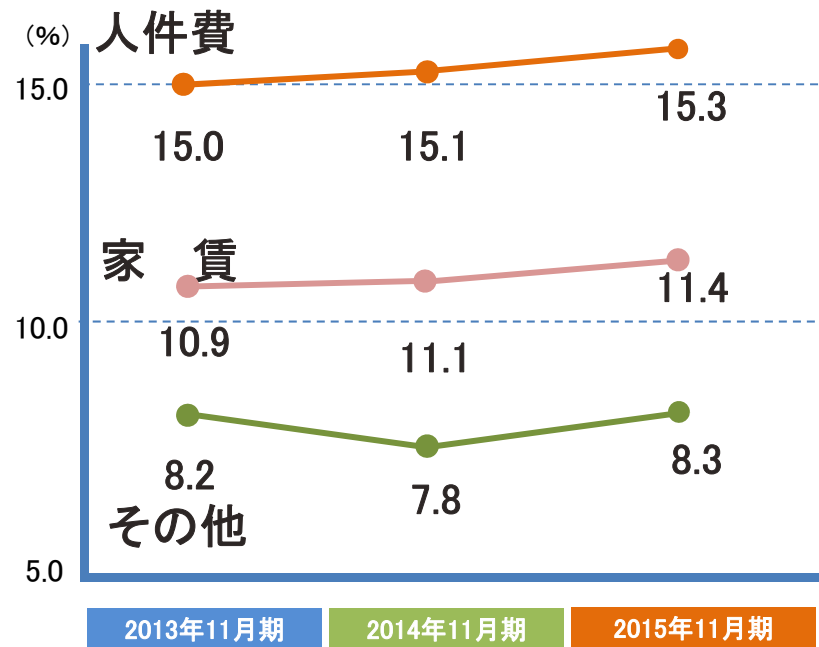


# 8. 販管費のコントロール

## 販管费率 推移

(単位: %)  
※対売上高比率

2013年11月期	2014年11月期	2015年11月期
34.1	34.0	34.9



## ○ 販管费率の上昇

- ・ 人件費:  
退職給付費用  
アルバイト関連人件費
- ・ 家賃:  
競合激化、新店増加
- ・ その他費用:  
母店販促協力、出店費増加等

# 9. バランスシートの状況



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年 11月期	2015年 11月期	増減額		2014年 11月期	2015年 11月期	増減額
流動資産合計	17,036	12,469	△4,567	流動負債合計	14,653	10,545	△4,107
現金及び預金	5,860	1,987	△3,873	仕入債務	11,499	8,545	△2,953
売上債権・未収入金	2,844	2,151	△693	その他流動負債	3,153	1,999	△1,153
商品	5,527	6,103	575	固定負債合計	2,813	3,018	204
信託受益権	2,000	1,644	△356	退職給付に係る負債	1,101	1,270	169
その他流動資産	802	582	△220	資産除去債務	908	975	67
有形固定資産合計	4,947	5,737	789	負ののれん	476	437	△38
建物及び構築物	3,710	4,394	684	その他固定負債	327	334	6
その他	1,237	1,342	105				
無形固定資産合計	138	128	△9	純資産合計	10,406	10,780	373
投資その他の資産合計	5,750	6,009	258	資本金	3,028	3,028	0
敷金及び保証金	4,543	4,825	282	資本剰余金	3,065	3,065	0
その他	1,207	1,183	△23	利益剰余金	5,124	5,457	332
				自己株式	△728	△728	0
				その他の包括利益累計額	△83	△42	41
資産合計	27,873	24,344	△3,529	負債純資産合計	27,873	24,334	△3,529

# 10. 設備投資の状況

## 設備投資

(単位:百万円)

	2014年11月期	2015年11月期
設備投資額	1,557	2,279
減価償却費	818	896

### ◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

	2014年11月期	2015年11月期
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	1,435	2,187
情報システム関連投資	121	92
合 計	1,557	2,279

# 11. 連結キャッシュフローの状況

## 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2014年11月期	2015年11月期
営業キャッシュフロー	4,356	△1,507
投資キャッシュフロー	△1,633	△1,795
財務キャッシュフロー	△756	△599
現金・現金同等物期末残高	5,855	1,982

営業キャッシュフローの減少は、2014年11月期末日が金融機関の休業日であった影響等による仕入債務の減少29億53百万円及び法人税等の支払額10億34百万円が主要因

## ご参考指標

### <配当利回り>

2015年11月期:1.0%

2014年11月期:1.1%

### <配当性向>

2015年11月期:43.4%

2014年11月期:39.2%

### <ROE>

2015年11月期:5.3%

2014年11月期:7.1%

# 12. 「今後の取組み」①

## (1) 商品力の強化

- ① オリジナリティーの追求
- ② 20代から30代の女性向け趣味嗜好品の拡充
- ③ アイデア商品の強化
- ④ 量から質への転換徹底(品質管理)

## (2) 粗利益の改善

- ① 円安に一服感あるなかでの既存品洗い替えの強化
- ② POS分析による商販連動～「売れて」「儲かる」品揃え
- ③ 顧客ニーズに対応した「小さい」「軽い」商品へのシフト継続
- ④ 欠品・在庫管理の強化

# 13. 「今後の取組み」②

## (1) 既存店の活性化

- ① POS分析に基づく個店毎の「売れて」「儲かる」品揃え
  - ・既存店前年比増の定着化
- ② 店舗運営の効率化推進
  - ・レイアウト・商品管理の見直しと人の動きのムダ取り促進

## (2) 店舗開発力の強化

- ① 積極的な出店の継続～新規出店は80店舗を目指す
- ② 既存店の適時スクラップ・リニューアル実施
- ③ 女性目線での店舗デザイン

## (1) 販管費の抑制

### ① 店舗運営の効率化推進による「時間」「人件費」の抑制

- ・「売れて」「儲かる」商品を見せるレイアウト
  - ・店舗在庫の圧縮に繋がる商品管理強化
- ⇒ 人の動きのムダ取り促進でさらに効率化

### ② 新店出店費用の削減

- ・内外装、什器、備品、工期の見直し

### ③ 全社的な業務改革の推進

- ・「小さな本部」と「強い現場(店舗)」作り

# 15. 「今後の取り組み」④

## (1) 海外FC展開開始

### ① アジアの経済成長の取り込み

- ・商品輸出から現地の小売有力パートナーとのFC展開

### ② 2015年12月に2ヶ国同時オープン

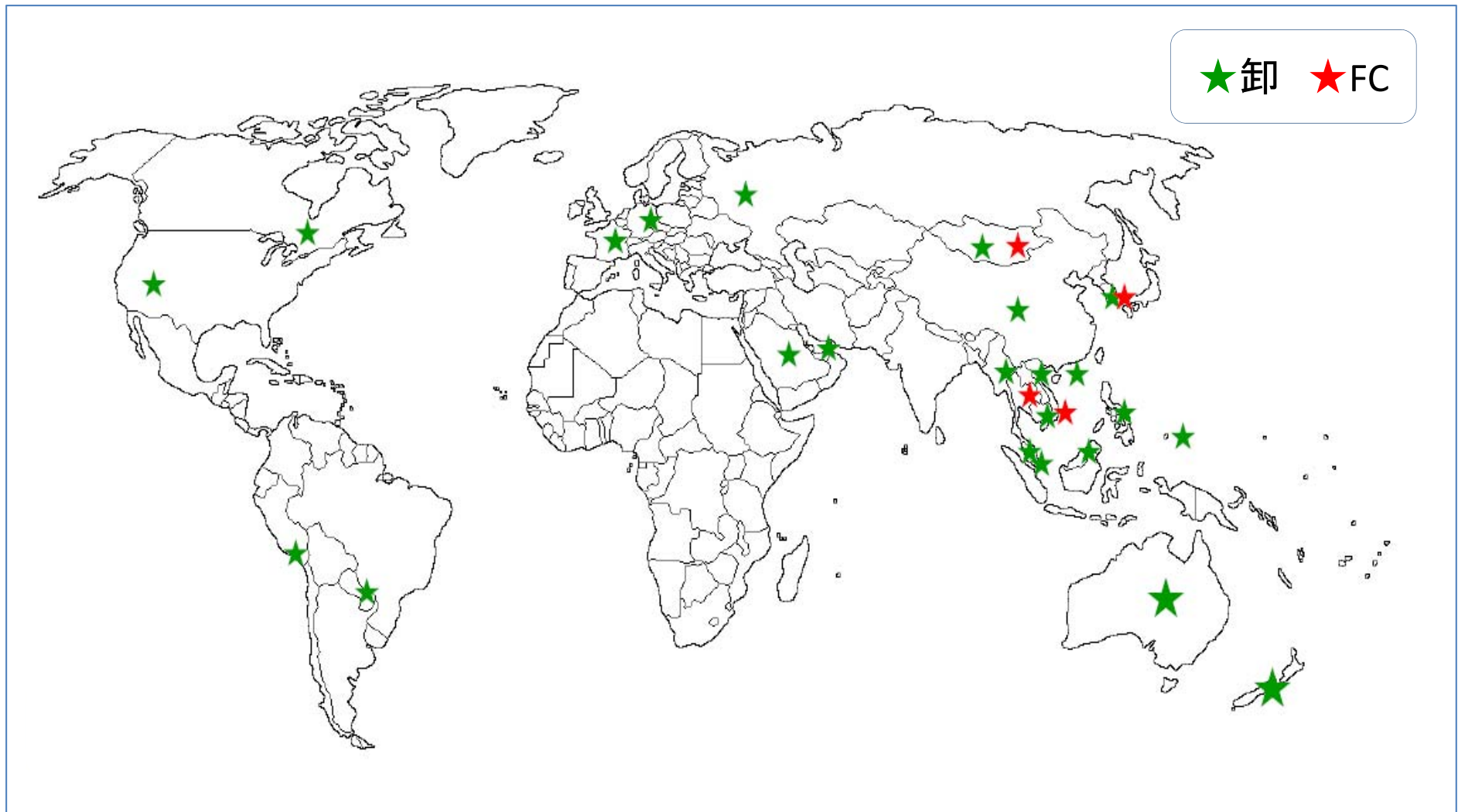
- ・モンゴル(1、2号店)
- ・タイ(1、2、3号店)

### ③ 2016年にさらに2ヶ国でFC店舗オープン

- ・韓国(1号店) 1月
- ・ベトナム(1号店) 2月



(ご参考) 海外取引先一覧



# 16. 「今後の取り組み」⑤

## (2) OHO!HO!

### ① 「新業態開発」の試行続ける

- ・100円ショップと共存できるセレクトショップ

### ② 3店舗実績での中間報告

- ・ファッション、リビングと1,000円～3,000円価格帯に特色

#### カテゴリー（売上構成比%）

ファッション	38.2%
リビング	22.7%
ダイニング	16.3%
キッチン	12.6%
バス	3.3%
and more...	6.9%

#### プライスライン（売上構成比%）

80円	～	500円	23.4%
501円	～	1,000円	14.6%
1,101円	～	3,000円	44.7%
3,101円	～	5,000円	13.2%
5,101円	～	16,000円	4.0%

(ご参考) OHO!HO! 最新ストアデザイン

イオンスタイル板橋前野町店  
ブルックリンテイスト  
+ カフェスタイル

